

# VIEXでエクセル画像の保存

## 1. セル選択 コピーで保存

図1のようなエクセルの図形描画機能で作成した図を、まず、VIEXの「クリップボードセーバー」を使って保存します。クリップボードセーバーはVIEXを起動して、アクティブになっているとして、これからの操作を説明します。

図1は、エクセルの「図形描画」を使って作成しました。通常の枠線が入っている状態ですから、この場合は枠線もコピーされてしま

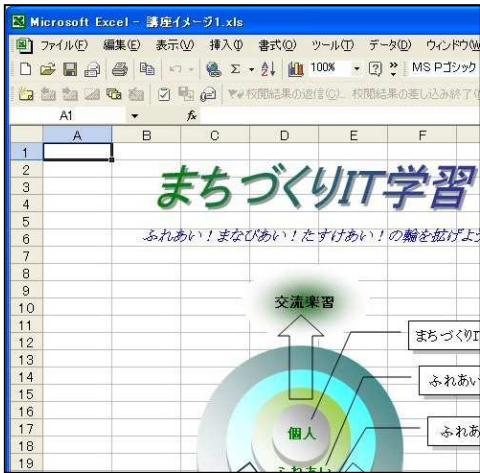


図1 エクセルの図形描画機能でこのような図を作成します。

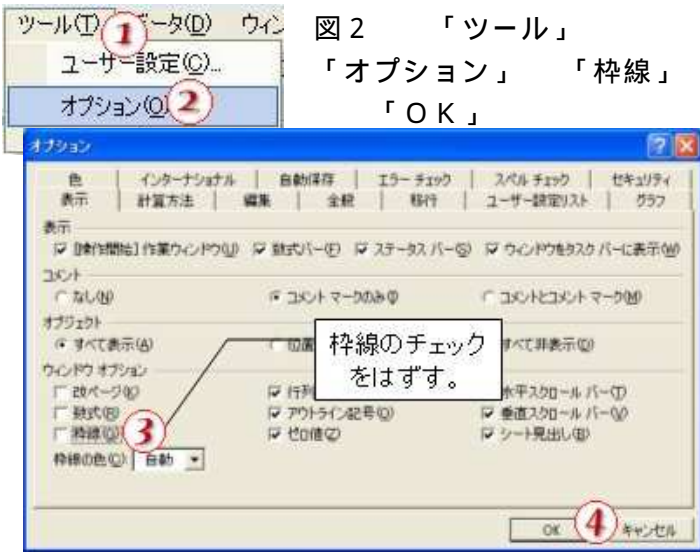


図2 「ツール」「オプション」「枠線」「OK」

この枠線が消えた画像を図4のように、画像を含む部分のセルをドラッグして反転させ選択します。

この枠線が消えた画像を図4のように、画像を含む部分のセルをドラッグして反転させ選択します。右クリックして、出てきたメニューの「コピー」をクリックします。すると、コピーされた画像がVIEXで指定したフォルダに保存されます。保存された画像を図5に示します。(通常、「クリップボードセーバー」は、「PrintScreen」で画面をコピーしますが、ここでは、「コピー」で画像を「コピー」します。)

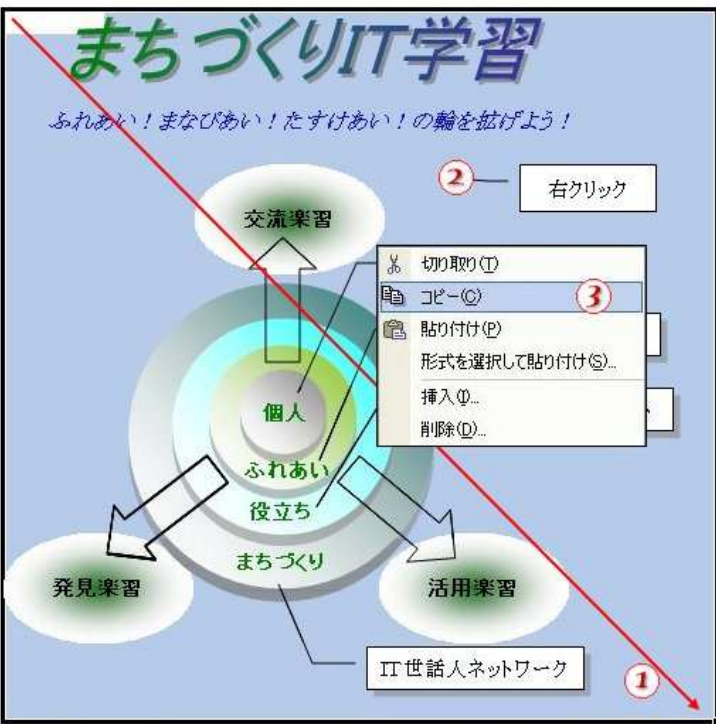


図4 セルをドラッグして選択 右クリックメニューの「コピー」をクリック

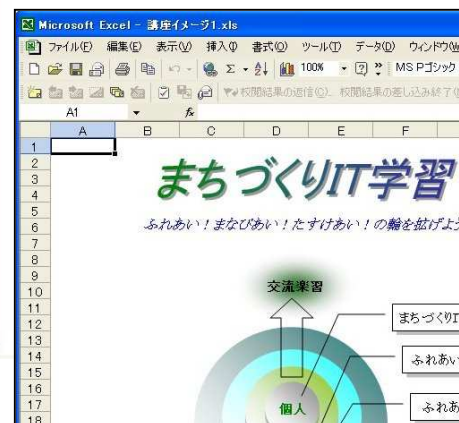


図3 枠線が消えた状態

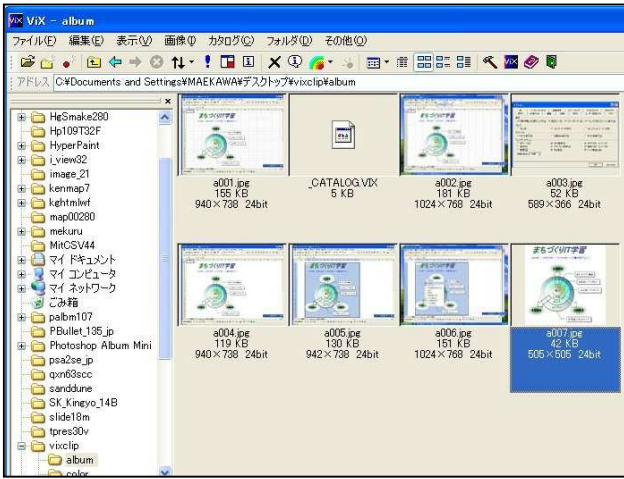


図6 VIXのビューワで表示された画像

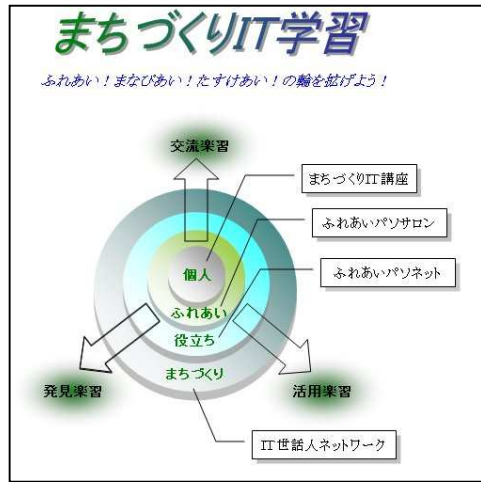


図5 保存された画像

まづくりIT学習でふれあい！まなびあい！たすけあいの輪を拡げよう！  
 交流！発見！活用！楽習で、「まづくりIT学習」を拡げよう！

「まづくりIT講座」は個人対象の講座ですが、基本的に「ふれあいコミュニティー」「ボランティアネットワーク」とのつながりで考えています。したがって、自分だけ学習できれば良いと言う姿勢ではなく、ふれあい！まなびあい！たすけあい！の精神で、「交流楽習」「発見楽習」「活用楽習」を心掛けていただきたいと思います。

「IT学習」の意味を考えること。「個人学習」ではなく、「グループ学習」であることを理解すること。「教えてもらう」から「学ぶ、学びあう」への気持ちの切り替え。も大事です。

図7 セルをドラッグ クリック 「コピー」 右

ワードなどのソフトから、「挿入」→「ファイルで」で保存した画像を指定すると、画像が挿入されます。

また、図6は、VIXのビューワで画像が表示されている状態ですが、必要な画像をワードにドラ



図8 JPG画像 77KB 649x363

ッグアンドドロップすれば、ワードに画像を挿入することもできます。これも便利です。

このセルを選択する方法は、画像だけでなく、セルに入力されたテキストもコピーされ、一つの画像になるので、とても便利です。選択したセルの上に表示されている画像、テキストがそのままコピーされ、もちろん、「表示のくずれ」も起きません。

図7に示すように、セルに入力されたテキストと画像のある範囲のセルをドラッグして選択し、選択部で右クリックし、メニューから「コピー」をクリックすると図8のような画像が指定したフォルダに保存されます。

VIXのビューワには、保存された画像が表示され、図8のように画像サイズやフォーマットも表示されます。(クリップボードに)

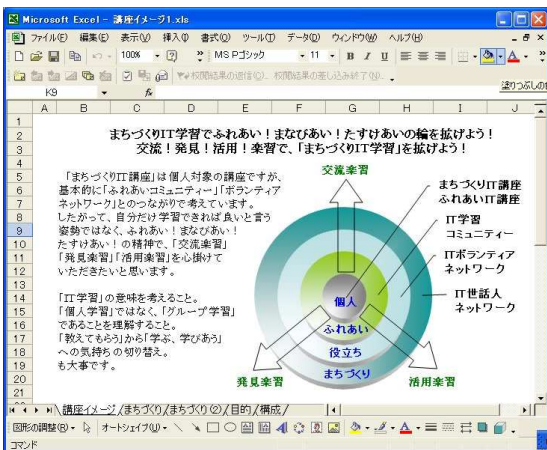


図9 保存されたエクセル画面

パーで、保存画像のフォーマットをJPGに指定しています。) ちなみに、「クリップボード」がオンの状態で、「Printer Screen」キーを押すと図9のようなエクセルの画面が保存されます。この画面をVIXでトリミングしても図8と同じような画像を得ることも出来ます。(三・で説明します。)

## 二・「図形選択」コピ―で保存

エクセルで「図表ギャラリー」などの図形描画で作成した画像をマウスでドラッグし、図10のように選択します。（この場合、「オブジェクトの選択」がオンになっている必要があります。）

「Shift」キーを押しながら、「編集」をクリックし、「図のコピ―」をクリックします。

（「Shift」キーを押していないと「図のコピ―」は出ません。）すると、「図のコピ―」の設定画面が出るので、「画面に合わせる」「ビットマップ」にチェックを入れま

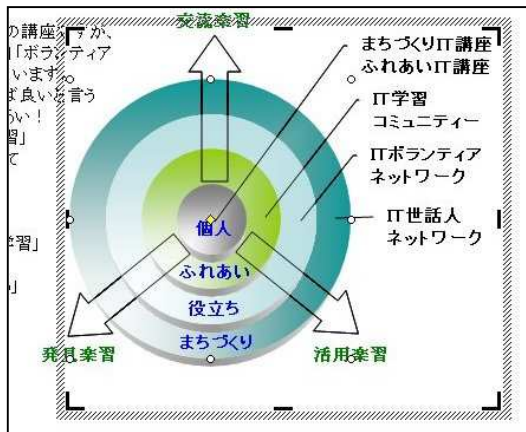


図10 エクセル画像の選択状態

す。（但し、「クリップボードセーバー」の設定はJPGになっているので、「JPG画像が保存されます。もし、BMPになっていれば、ビットマップ画像が保存されます。）

この方法では画像だけがコピー、保存され、セルに入力されたテキストはコピーされません。図14は、Vixビューワに表示された画像と画像情報です。画像情報は画像を加工したり、貼り付けたりする時の参考データとなります。

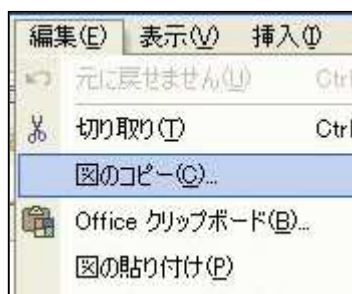


図11 「図のコピ―」

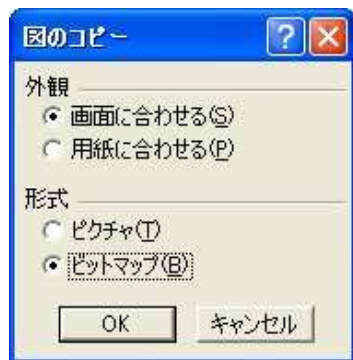


図12 「図のコピ―」設定

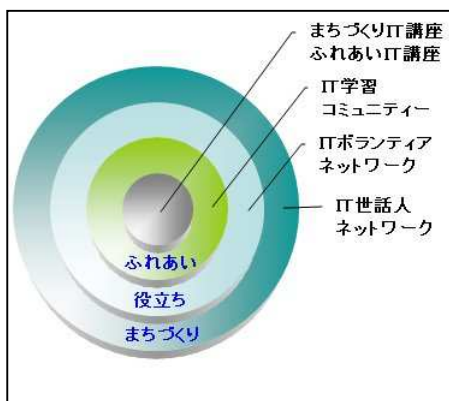


図13 保存された画像

（図10の矢印は選択されていないので、コピーされなかった。）

図14 Vixビューワで表示された画像情報



また、画像の中の必要な部分のみを選択することにより、画像の中の必要な部分のみをコピー、保存することも可能である。

このテキストで使用した画像は、ここで説明した一・または二・の方法で作成し、このテキストを作成したワードに貼り付けています。エクセルの図形描画で画像を作成し、Vixを使って画像をコピー、保存しました。その画像をワードに貼り付けました。一部の画像については、画像を再度、エクセルに挿入し、他の画像と組み合わせ、再度コピーしてあります。また、このテキストはウェブ上で公開するために、PDFに変換しました。

### III. 「PrintScreen」で保存

通常「クリップボードセーバー」は「PrintScreen」キーを押して、画面を保存するのに使われます。「PrintSc」キーで全画面が保存され、「Alt」キーを押しながら、「PrintSc」キーを押すとアクティブ画面が保存されます。

パソコンテキストを作るために、パソコンを操作しながら画面を保存して行くのに、とても便利です。しかし、エクセルなどで、画像を

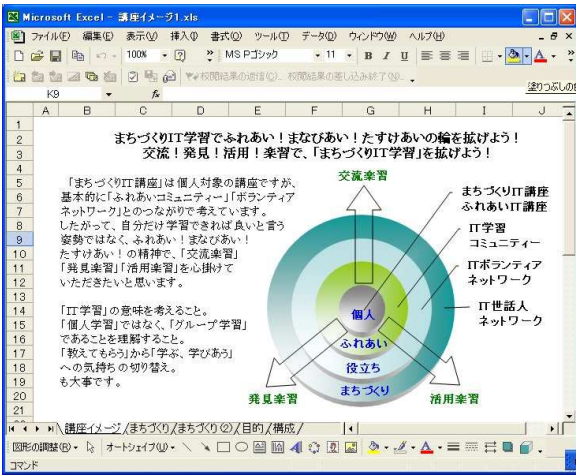


図 15 エクセル画面

作成する場合は、画面を保存すると後でトリミングが必要で、効率的ではありません。目的によって、使い分けが必要です。

エクセルでセルに入力したテキストと図形描画で作成した画像がレイアウトされた文書の画面で「Alt」キーを押しながら、「PrintSc」キーを押すと図15のような画面が保存され、Vixの画像ウィンドウで表示されます。

Vixのビューワでサムネイル画像と画像情報がビューワで表示されます。(図16)(クリップボードセーバーはアクティブで、設定はJPGで保存にしています。)

図15のVix画像ウィンドウで、「編集」メニューのトリミングをクリックします。(図17)



図 16



図 17

マウスでドラッグしてトリミング画面を決定し、実行します。(図18)

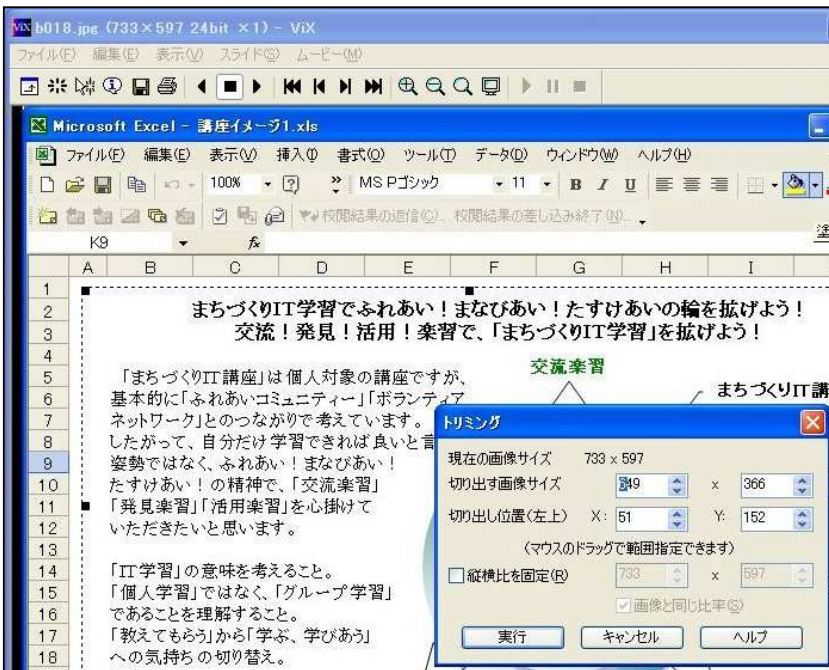


図 18 プリントスクリーンした図 15 の画像のテキストと画像の部分だけをドラッグして囲んでから、トリミングの実行ボタンをクリックする。

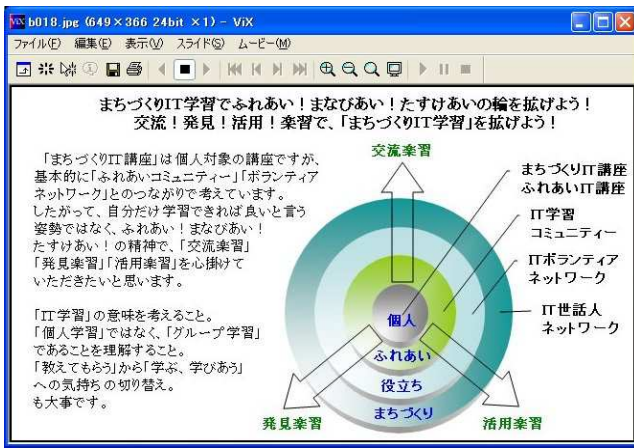


図 19 トリミングした画像

図 19 のような画像がトリミングされるので、保存して、ワードなどから画像を挿入すると、「セル選択 コピー」と同じ画像を貼り付けることができる。後から「トリミング」する手間が掛かるが、どんどん「Print Screen」して保存して、後から、まとめて「トリミング」すれば良いので、それほど手間は掛からないかも知れない。

テキストと画像が入り組んでいて、テキストまたは画像だけをコピーしたい場合に、この方法ではうまく分けてトリミングできない場合もあるので、一、または二の方法を採る必要がある。